# 一般社団法人 防災ガール 平成28年度年次報告書

防災があたりまえの世の中に。
そのために私たちは今なにができるのだろう。

# 防災ガールは防災が当たり前の世の中にするために
# 防災をこれからのフェーズへ変えていきます

1.
津波防災の新合図「オレンジフラッグ」を全国に
#beORANGE

2.
新しい防災を提案する
webメディア
bosai-girl.com

3.
生き抜く知恵の実験室
WEEL

4.
平時も緊急時も連携できる
COMMUNITY
MANAGEMENT

# これまでたくさんの方々に
# 共感・協力していただきました。

3,000Likes→

## 9,100Likes!

防災ガール

昨年比140%強

## 10万PV / 月間

WEBランキング

「防災」最高４位

「女性 防災」最高 1位

#beORANGEパミサンガ使い方動画

## 15万回再生

オレンジフラッグの意味合いツイート

## 1.6万RT・168万閲覧

今年度連携産官学数

## 14市町村,4企業
## 4省庁,複数団体

## これからの防災の話をしよう

いつもの避難訓練
いつもの備蓄、非常食
いつものつっぱり棒
いつものハザードマップ
いつもの避難所ワークショップ
いつもの消化器
いつもいつも私は防災が嫌いでした。
全部誰かが決めたルール、意味もわからなかった。
めんどくさいし、ダサいし、わかりづらいし、無理。

東日本大震災の時、
いつのまにか会社をやめて福島に移住していました。
日本人として、自分ができることはなんだろう、
自分はこれからどう生きていくんだろう、と。

2013年に仲間と話し合って始め
2015年に法人化し
2017年に口ゴやミッションの解像度をあげました。

本当に私たちがやるべきことに集中し、
“防災があたりまえの世の中”にするために。

私自身も、防災ガールの代表であるだけでなく、
この業界を引っ張っていく、旗振りとなることを
決心しました。
もう私たちには時間がない。
そろそろ、これからの防災の話をしよう。

目次

1.団体概要
2.ロゴ タグラインについて
3.新体制について

4.平成28年度の活動まとめ
4-1 1年の活動まとめ(1枚でまとめる)
4-2 事業推進チーム
LUDUSOS
#beORANGE
4-3 人事管理チーム
4-4 情報発信チーム
4-5 特別コーナー
熊本支援
ぎゅっとぼうさい博
ボランティアブーツ
※ それぞれトピック3つと成果を記載

5 メディア掲載
6 メンバー紹介
7 パートナー紹介
8 活動拠点の展開
9 財務報告

10 来年度の展望

# 1.団体概要

| | |
|---|---|
| 名称 | 防災ガール（一般社団法人防災ガール） |
| 設立 | 2013年8月26日（2015年3月11日 法人格取得） |
| 所在地 | 〒113-0033　東京都文京区本郷三丁目40番10号 三翔ビル本郷7F<br>小野田髙砂法律事務所内 social hive HONGO |
| 役員 | 代表理事 田中 美咲 |
| | 理事　木村 玲欧 |
| | 理事　古橋 大地 |
| | 理事　牧　貴士 |
| | 監事　藤井 美明 |
| | 監事　小野田 峻 |
| 事務局 | 共同事務局長　筒木 愛美 |
| | 共同事務局長　中西 須瑞化 |
| | 事務局　奥澤 理恵子 |
| 連絡先 | お問い合わせページよりお願いします |
| 事業内容 | 防災対策普及事業 |
| | 産官学連携事業 |
| | プロジェクト企画事業 |
| | 情報発信事業 |
| | 防災教育事業 |
| | 商品開発販売事業 |

## 防災ガールとは？ what is BOSAI-GIRL

「防災があたり前の世の中をつくる」
そのためにこれまでの防災の概念を覆し、
これからのフェーズへと変えてゆく。
そう決め、行動を起こし続けるのが私たち防災ガールです。
全国から意志ある20〜30代の若者100名以上が共感し、集まり、
常に今ある「あたりまえ」を疑いながら
防災や生きることについて考え、
商品開発や事業プロデュースを通して、
フェーズに合わせた新しい防災の概念をさまざまな形で提起し続けます。

# 2.ロゴ・タグラインについて

## 防災を、これからのフェーズへ

マーク＋（1 段組み）　横組み（1 段組み）　横組み（2 段組）　横組み（2 段組）＋囲い線

「防災」を非日常のものではなく、暮らし・生きていくことの中にある要素として解釈し、**再定義したい**と考えています。

これまでは非常口のピクトグラムを女の子にしたオマージュのようなロゴでした。それは「オシャレで可愛く」することで、女の子や若者にとっての「防災って難しそう…」といった抵抗感をなくすことを目指そうとしていたから。

これからさらに一歩先の新しい防災の概念を提案していくにあたって、わたしたちが大切にしたいのは**「非常時と暮らしの境界線をなくしていくこと」**です。そこで、生活のなかに防災が組み込まれているイラストを採用しました。

また、女の子らしい丸字のロゴは、ミライを向いて攻めの姿勢で活動していくことを表現するため、スタイリッシュな文体となりました。団体名は変わらず「防災ガール」という名ではありますが、メンバーのなかには男性も活躍しており、ターゲットも若い女性だけを捉えているわけではなくなりました。そのため、**可愛らしさよりも先進性を意識**して改めました。

新しい防災ガールのコピーとロゴ。しばらくは見慣れないかもしれませんが、私たちの未来への想いがつまっています。

## 3.新体制について

防災があたりまえの世の中に。そのためにリーダーや指導者まかせにするのではなく、一人一人の強みを活かしあいチームで解決しにいく。それが私たち防災ガールの社会の変え方です。2017年3月11日を機に代表理事・事務局を兼任していた田中美咲は事務局を退任し、筒木愛美と中西須瑞化が共同事務局長に就任。さらに事務局に新たに1名が就任しました。

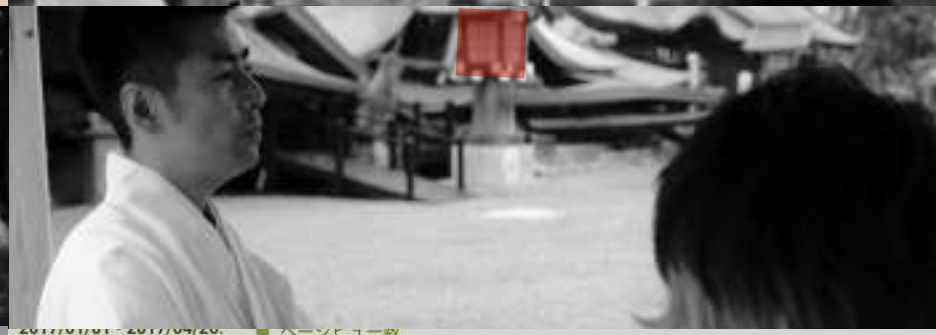
社員

理事会
代表理事
理事・監事

事務局
共同事務局長
事務局

防災ガールメンバー

# 平成28年度(2016/7/1-2017/6/30)の活動まとめ



防災ガール

平成28年度の活動まとめ 事業推進チーム

# オレンジは、津波防災の色。#beORANGE

ABOUT

日本財団と共催し、現在の日本の津波防災対策だけでは不十分であったところを民間の力を集結させムーブメントとする津波防災の普及啓発プロジェクト。津波がくること・津波避難場所を意味する「オレンジフラッグ」を全国で掲げ新しい津波防災の合図として一人でも多く避難させる。

PARTNER

日本財団・高知市・田原市・下田市・日本サーフィン連盟・日本ライフセーブング協会・株式会社r-pro pensea & Co.・RESQUAD・株式会社PRTIMES・株式会社ローンディール　他多数

## 3 topics

### 1）1年で165本/73市町村にオレンジフラッグが設置

想定３都道府県100本であったところを、日本サーフィン連盟の協力もあり165本73市町村にオレンジフラッグが設置された。

### 2）津波被害が想定される４都道府県「高知,愛知,静岡,宮崎」に注力

2016年は前３県内市町村単位で実施し、2017年からは宮崎県で全域にて実施することが決定。大学などと連携して展開中

### 3）賛同者を可視化する「パラコードミサンガ」が大ヒット

沿岸部だけでなく、全国から海辺に遊びに行く人も対象とする本プロジェクトでは、「賛同者を可視化する」ことにも注力した。アイテム一つで10種類以上の活用方法のある防災グッズ「パラコードミサンガ」をファッションブランドRESQUADと連携し開発。

平成28年度の活動まとめ 事業推進チーム

# 次世代版避難訓練 LUDUSOS

ABOUT

「いつどこで被災しても避難できる」ようになるための訓練として考案した次世代版避難訓練LUDUSOS。
平成28年度は9月に秋葉原を舞台に、NTT都市開発株式会社主催のもと、災害時の位置特定に役立つUTM座標を用いた訓練を新規開発し、実施しました。その後、オープンソース化を目標にマニュアル化を進めました。

PARTNER

NTT都市開発株式会社、NTTタウンページ株式会社、セイコーエプソン株式会社、エプソンサービス株式会社、NTT空間情報株式会社、株式会社ファルコン

## 3 topics

### 1）UTMグリッドを利用した新しい訓練の開発

従来のLUDUSOSのコンセプトのまま、防災分野で注目されているUTMグリッド地図を活用した訓練を開発・実施しました。

### 2）参加者の96%が、訓練後に防災意識の変化を実感

参加者アンケートにより、参加者の96%が訓練後の防災意識の変化があったと回答しました。

### 3）２年間の成果をもとにさらなる企画を改良、中核要素をデータ化

過去２年間にわたり実施した成果としてLUDUSOSを構成するコンセプトや設計要素をまとめ、改良を重ねた訓練を企画した。

防災ガール

平成28年度の活動まとめ

# 人事管理チーム・コミュニティマネジメントチーム

ABOUT

在籍する防災ガールメンバーの入会手続きや活動を円滑に進める為、防災の基礎知識やスキルの習得をする内部研修の実施やチェックテストなどを行いました。定期的な面談や総会等により日々活躍する防災ガールの核であるメンバーの背中を後押ししています。

## ３種類の研修を実施

**1）一人ひとりの意見を分かち合う「生き抜く力を語り合う夜」**
個人の意見を共有することにより、自分と違うものの見方や意見を知り理解できるようになる。また、自分の考えや意見を伝える力だけでなく、共感力やコミュニケーション能力の向上を図った。

**2）全国各地で活動するメンバーが一同に会する「メンバー総会」**
普段、オンライン上の活動が多い防災ガールメンバーが半期ごとに１度全員集まり、
各メンバーのスキルの向上や統一感のある団体意識の醸成をしています。

**3）メンバーが入会説明会から入会後のフォローアップまでを担う「入会説明会・手続き」**
メンバー各々の判断によって進めることによりほぼメンバー完結で説明会から入会手続きまで実施。

防災ガール

平成28年度の活動まとめ

# 情報発信チーム

ABOUT

わかりやすい防災、試してみたい防災、豆知識をお届けし、「防災をあたり前の世の中に」を実現することに貢献。今や「防災」と検索すると、自治体を差し置いて上位に掲載される防災ガールWebメディアの執筆を中心に、Twitter・Facebook・InstagramなどのSNSでも防災に関する情報を発信しています。

全てのデータは2017年4月末日時点のものです

## 3 TOPICS

### 1）「防災」検索でYahoo3位・Google4位を獲得

「防災」が気になった人が真っ先に調べるであろうワードで上位を獲得しました。

### 2）「防災ガール」月間10万PVを達成

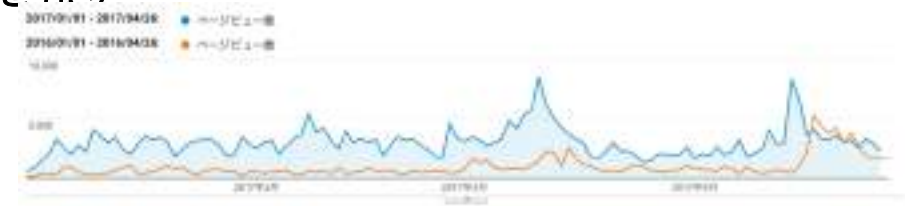
昨年に比べサイトページビューは3倍に。

月間のページビューも安定的に10万を達成するようになりました。

### 3）サイトをリニューアル・コーポレート部門を独立

タグライン変更に伴い、より防災ガールの世界感を表現した

コーポレートサイトを新設しました。



防災ガール

平成28年度の活動まとめ 特別コーナー

# 熊本支援

ABOUT

2016年4月14日と16日に発生した震度7の揺れ。熊本地震は、防災ガールが設立して以降初めての巨大地震。緊急対応として活動支援金を集め、半年間に渡り現地入りを続け、物資支援や炊き出し、情報発信など、発災後のフェーズに寄り添う支援を実施。その後もメンバー個人として、1年経過した今でも定期的に訪問している。

PARTNER

一般社団法人チーム熊本、一般社団法人BridgeKumamoto

（物資提供：TABEL株式会社、ナオライ株式会社）　他、活動支援金寄付者のみなさま

## 3 topics

### 1）1,399,000円の寄付金を集め、年間全5回に渡り現地入りを実施

寄付者は企業個人を問わず全国から30名を超え、皆さまのお気持ちを届けるべく中長期での支援を実施。

### 2）災害時の緊急対応を検討し実施

2017年度より、緊急時連携も視野に入れたコミュニティをつくる新たなチームの立ち上げを決定。

### 3）「被災地支援」ではなく「繋がり」による連携を確立

「被災地」に行くのではなく、「人」との繋がりによる連携や支援の形を確立。

BridgeKumamotoなど現地で活動する団体と点での支援ではなく永続的に関われる関係性づくりが叶った。

平成28年度の活動まとめ 特別コーナー

# 文部科学省主催 ぎゅっとぼうさい博

ABOUT

文部科学省が主催である防災EXPOを、企画名をはじめコンセプトデザインや全体設計、会場の場づくりなど総合的に協力させていただきました。これまでの防災のエキスポや博覧会はBtoBまたはBtoGばかりで一般的に楽しめるものではなかったため、この日でぎゅっと防災をまなべる親子向けの企画にデザインし直しました

PARTNER

文部科学省・公益財団法人地震予知総合研究振興会　他多数

## 3 topics

### 1）想定300人に対し、3000人という10倍の来場者数を達成

会場は来場者であふれかえり、来場者アンケートを回答するための列もできるほど。

### 2）会場は黄色と緑一色！フォトジェニックな会場でSNSの拡散も

キーカラーは危険色でもある「黄色」。黄色と緑をバランスよく見せることで楽しそうな場所に魅せSNSにアップする方も多数

### 3）facebook社をはじめとして普段からつかうものを出店

出展者が場所をかりてPRしたいものをPRするのではなく、私たち防災ガールが「みんなが使いやすいもの」「この日にきいてすぐ実行に移せるもの」に絞り出展者を選定。普段会うことができない専門家も多数来場。

防災ガール

平成28年度の活動まとめ 特別コーナー

# 災害ボランティア向けブーツ

ABOUT

災害ボランティアへの一歩を踏み出しやすくするための「**新しい災害ボランティア用ブーツ**」を私たち「一般社団法人防災ガール」と、大正12年の創業で消防用長靴などのプロフェッショナル用アイテムを作り続けているゴムのメーカーである「シバタ工業株式会社」が連携し、ついに形にすることができました。

PARTNER

シバタ工業株式会社、一般社団法人bridgekumamoto

## 3 topics

### 1）想定以上!リリース記事が100シェア越え

災害ボランティアにおける長靴に関して課題を感じていた人が多数いたことがさらに明らかに

### 2）レインブーツとしても普段使いしやすく、疲れない軽さと柔らかさ

災害発生時だけでなく、普段から使えるデザインにすることで「暮らしの中に防災」という考えも入れることができました

### 3）消防関係者でも活用されている、安全性の高い消防士のためのブーツをベースに作成

靴底には鉄板を、完全防水でもあり、動きやすいように編み上げは足首以上、脱ぎやすいようにかかとにステップ付き、さらには太ももの太さにも影響がでにくいようにチャックと編み上げをつけています。23-30cmのサイズ展開で足の小さな＆大きな人も可能！

防災ガール

平成28年度の活動まとめ 特別コーナー

# 3Dハザードマップ トートバック

ABOUT

オープンイノベーションプラットフォームCrewwを通じ、国際航業株式会社と協業したプロジェクトです。「地図」をおしゃれで身近に持てるアイコンにすることで、普段見慣れないハザードマップや、地形地図を若い人にとって親しみやすいものになることを目標に、特殊な3Dプリント技術を用いて渋谷のハザードマップをプリントしたトートバッグをクラウドファンディングで販売しました。

PARTNER

国際航業株式会社、creww、有限会社ぬまくら

## 3 topics

### 1）「地図」に強みを持つ企業との協業

国際航業の強みである精緻な地図データと、防災ガールの強みである若者らしさや発信力を掛け合わせプロダクトが生まれた。

### 2）3D特殊プリントを用いたハザードマップトート

3Dの特殊プリントによって、渋谷の特徴的な地形の高低差をトートバックの上にあしらった特徴的なプロダクトになりました。

### 3）クラウドファンディングにて、約100人からの支援を獲得

プロトタイプ販売のクラウドファンディングで、96人から合計43.4万円の支援をいただき、目標達成してプロジェクトを終了。

# 5.メディア掲載

**テレビ**
2016.12.5 NHK おはよう日本
2017.3.1  TBS NEWS23

**雑誌**
2016.12.01 広報会議
2017.02.01 anan

**ラジオ**
2016.09.01 J-WAVE  J-WAVE TOKYO MORNING RADIO
2017.04.11 bayfm パワーベイモーニング

**新聞**
2016.07.04 日経新聞
2017.03.11 読売新聞

**Web**
2017.02.24 ハフィントンポスト
2017.01.17 R25

その他多数

# 総勢25人のメンバーが平成28年度の活動しました

メンバー紹介

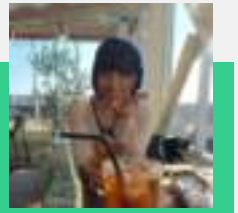
奈良県(29)
代表理事

兵庫県(25)
フリーランス

長野県(26)
フリーランス

神奈川県(21)
学生

高知県(26)
行政職員


大分県(25)
会社員

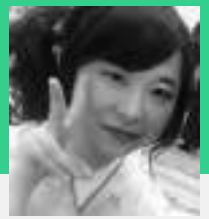
神奈川県
看護師

長野県(24)
会社員

大阪府(26)
気象予報士

東京都
フリーランス

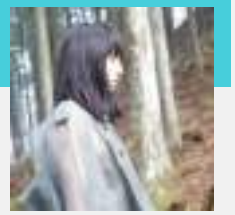
千葉県
会社員


岩手県(21)
学生

静岡県(23)
会社員

東京都(23)
会社員

佐賀県(26)
NPO職員

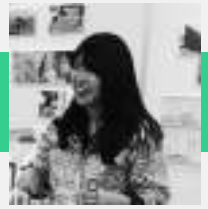

東京都
ライター

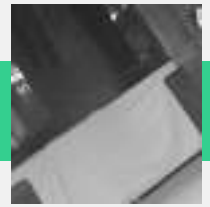
東京都(25)
会社員

福岡県(24)
学生

岡山県(27)
会社員

京都府(24)
会社員


岩手県(21)
学生


愛知県(24)
会社員

# 7.パートナー紹介

私たちの活動にはすさまじいほどの魅力に溢れた方々に協力していただいています！
一部の方のご紹介となってしまいますが、少しでも関わってくださった皆様のことが心から大好きです！

# ８.活動拠点の展開

活動したい場所で、活動の内容に合わせて
いつでもどこでもどんなときでも行動をおこせるように。
東京本郷三丁目の起業家仲間とつくるシェアオフィスと、
滋賀長浜に暮らしながら防災を学ぶ家、
熊本阿蘇には秘密基地を。
目的をもった仲間が事を起こすために、どこでも活躍できるように。

SHIGA
NAGAHAMA
-
co-living /

TOKYO
HONGO 3 CHOME
-
share office /

# 9.財務報告

| 収入の部 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|
| 会費 | 182,000 | 128,000 |
| 寄付金 | 1,316,059 | 5,891 |
| 助成金 | 15,000,000 | 30,000,000 |
| 事業収入 | 8,755,678 | 8,351,017 |
| その他 | 3,844 | 2,456 |
| **収入合計** | **25,257,581** | **38,487,364** |

| 支出の部 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|---|---|
| 人件費 | 3,399,894 | 6,399,719 |
| **支出合計** | **11,014,126** | **33,337,629** |
| 次期繰越 | 14,300,569 | 19,397,156 |

## 人が地球に生まれ、育ち、生きていくと決める限り
## 「防災」は私たちと切っても切り離せないもの。

世界中に存在するありとあらゆる社会課題は、数百年数千年単位で解決できるかもしれない。ただし「防災」は、変化していく人類と地球にあわせて常にアップデートしていく必要があり、ずっと続いていくもの。諦めることができないもの。

私たち防災ガールは、自然と人間を離したり、自然の動きを止めることで対策することだけでなく、私たち個々人が意識変化することで「共に生きる」ことを選択していきたいと考えています。

毎日いろんなことがあり、目の前のことで忙しくてそれどころじゃない。めんどくさいし、やりたくない。

それでも私たちは、自分たちだけでなくこれからの未来に生まれる子ども達や生きる人たちのために行動し続けたい。彼らに選択肢を残すことが今生きる私たちができることだと思っています。

WEB：http://info.bosai-girl.com/